

第4章 計画の基本的事項の検討

第1節 ごみ排出量の予測方法

今後、10年間のごみ排出量予測は、以下の方法で行います。

- ① 過去5年間（平成28年度から令和2年度）における家庭系ごみ排出量の実績値を年間日数（365日（閏年は366日））及びその年度の人口で除し、家庭系ごみ排出量原単位を算出します。ごみ排出量の予測に用いる人口は、「第2期大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年4月策定）の将来展望人口を使用します。

また、過去5年間（平成28年度から令和2年度）における事業系ごみ排出量の実績値を年間日数（365日（閏年は366日））で除し、1日当たり事業系ごみ排出量を算出します。

- ② 過去の実績から、ごみの分別収集方法等に大きな変化のない比較的施策が安定した年度を選び出し、その年度の実績を基に6種類（直線式・分数式・自然対数・べき乗曲線・指数曲線・ロジスティック曲線）の予測式を用いて原単位及び1日当たり排出量の将来予測を行います。
- ③ 予測した各年度の家系ごみ排出量原単位にその年度の将来人口及び年間日数（365日（閏年は366日））を、各年度の1日当たり事業系ごみ排出量にその年度の年間日数を乗じて、各年度の年間排出量を推計します。

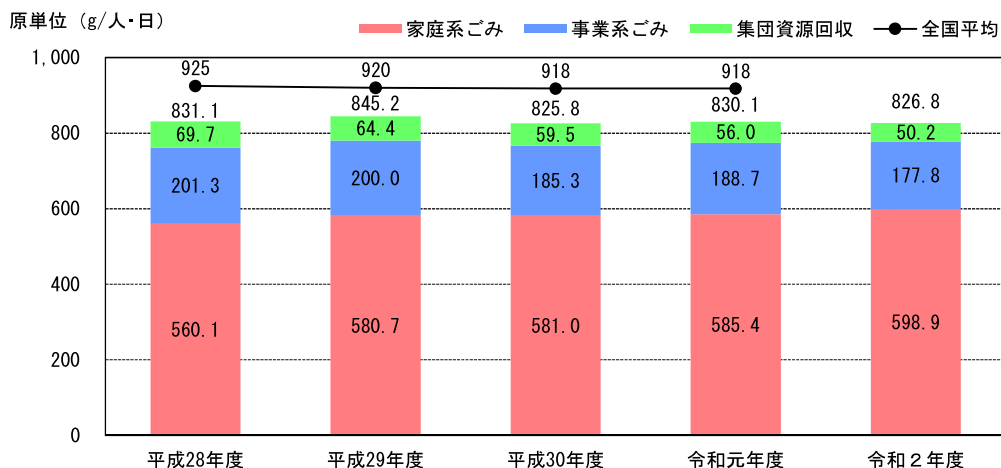
第2節 ごみ排出量原単位の実績

本市におけるごみ排出量原単位の実績は、表4-2-1及び図4-2-1のとおりです。

表4-2-1 ごみ排出量原単位の実績

項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口	人	342,154	342,088	342,695	343,550	343,835
年間日数	日	365	365	365	366	365
家庭系ごみ量	t/年	69,954	72,511	72,672	73,614	75,157
大型ごみ以外	t/年	68,499	70,979	71,080	71,865	73,181
大型ごみ	t/年	1,455	1,532	1,592	1,749	1,976
事業系ごみ量	t/年	25,137	24,977	23,174	23,721	22,310
臨時収集以外	t/年	25,062	24,849	23,092	23,627	22,241
臨時収集	t/年	75	128	81	95	69
集団資源回収量	t/年	8,706	8,047	7,448	7,044	6,295
新聞以外	t/年	3,864	3,633	3,430	3,358	3,228
新聞	t/年	4,842	4,414	4,018	3,686	3,067
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	560.1	580.7	581.0	585.4	598.9
大型ごみ以外	g/人・日	548.5	568.5	568.3	571.5	583.1
大型ごみ	g/人・日	11.6	12.3	12.7	13.9	15.7
事業系ごみ排出量原単位	g/人・日	201.3	200.0	185.3	188.7	177.8
臨時収集以外	g/人・日	200.7	199.0	184.6	187.9	177.2
臨時収集	g/人・日	0.6	1.0	0.7	0.8	0.5
集団資源回収量原単位	g/人・日	69.7	64.4	59.5	56.0	50.2
新聞以外	g/人・日	30.9	29.1	27.4	26.7	25.7
新聞	g/人・日	38.8	35.4	32.1	29.3	24.4
ごみ発生量原単位	g/人・日	831.1	845.2	825.8	830.1	826.8

※ごみ発生量原単位＝家庭系ごみ排出量原単位＋事業系ごみ排出量原単位＋集団資源回収量原単位
 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある



※令和2年度の全国平均のごみ排出量原単位は、現在未公表

図 4-2-1 ごみ排出量原単位の実績

第3節 ごみ排出量原単位及び1日当たり排出量の将来予測

1. 予測に使用する年度の設定

将来予測に使用する年度については、市の施策の実施状況及び全国の傾向を勘案し、かつ比較的安定な年度を選定します。

予測は、主に平成29年度から令和元年度のデータを基に推計を行うこととします。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化等による影響を大きく受けていることが考えられ、令和3年度においても同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが考えられます。令和3年度は、令和2年度と同様の傾向を示すとし、令和2年度の実績値を用いることとします。

2. ごみ排出量原単位の予測

(1) 予測手法

設定した年度における1人1日当たりのごみ排出量の実績値を、ごみの分別区分ごとに予測式に当てはめ、予測結果により設定して求めた1人1日当たりのごみ排出量の推計値に将来人口の推計値を乗じることで、将来におけるごみ排出量の推計値を算出します。

将来のごみ排出量の予測手法を、図4-3-1に示します。

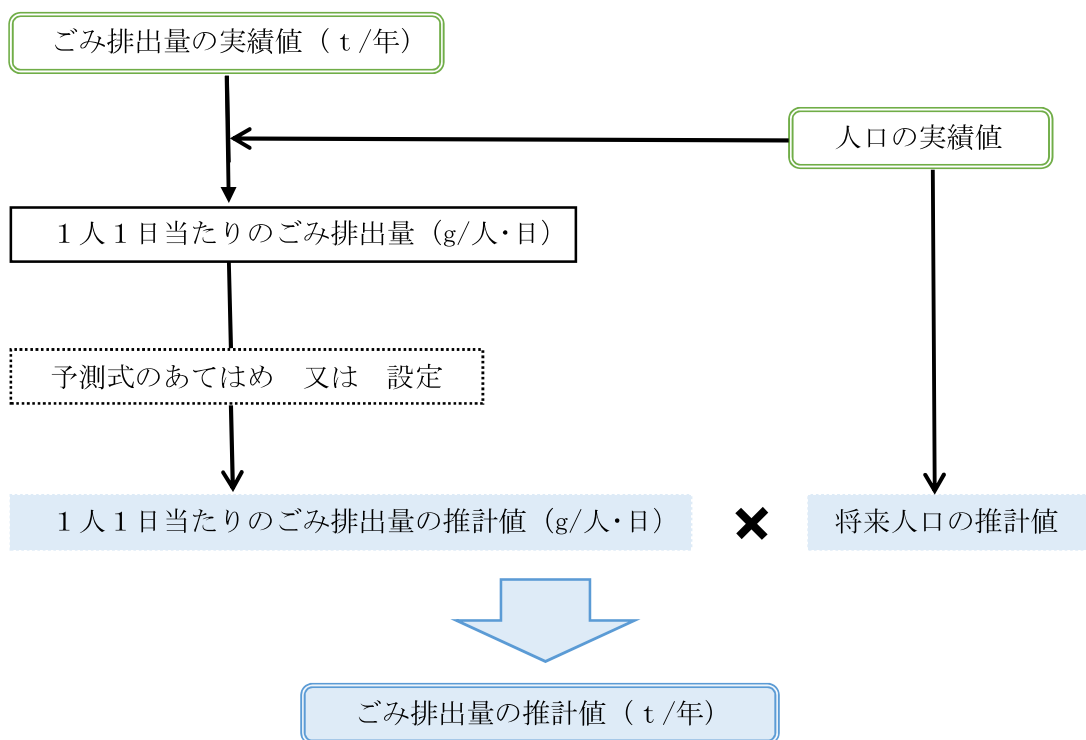


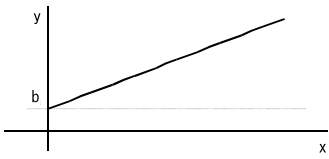
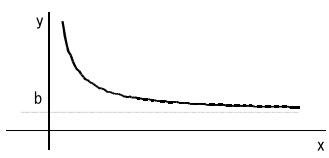

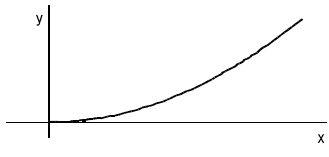
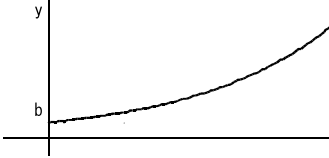
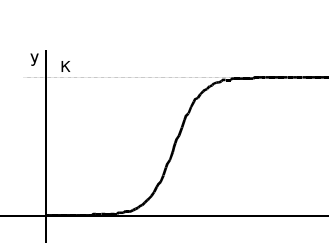
図4-3-1 将来のごみ排出量の予測手法

(2) 予測式の概要

予測については、各予測式の結果を踏まえ、決定係数（1に近いほど過去の実績との相関が良い）や現在の状況、他計画との整合性等を総合的に判断し、最も妥当と判断される予測値を採用します。

将来のごみ排出量の予測に用いた予測式を、表 4-3-1 に示します。

表 4-3-1 予測式の概要

予測式の種類	グラフ模式図	特徴
直線 $y = a \times x + b$		<ul style="list-style-type: none"> 直線式のため増加・減少傾向がはっきりと出ます。また、実績が増加傾向にある場合は、現在の傾向が継続することを前提とするため、予測結果が過大になる場合もあります。
分数 $y = a/x + b$		<ul style="list-style-type: none"> 変化率を低く抑える時に有効な予測式です。
自然対数 $y = a \log x + b$ ($x > 0$)		<ul style="list-style-type: none"> 徐々にごみ量の増減率が低減していくような曲線的推移を示す場合に有効な予測式です。
べき乗 $y = a \times x^b$ ($a > 0, b > 0$)		<ul style="list-style-type: none"> 比較的あてはまりが良く、多くの都市の人口推定等に適用できるとされており、徐々にごみ量の増減率が低減していくような曲線的推移を示す場合にも有効な予測式です。
指数 $y = a \times b^x$ ($a > 0, b > 1$)		<ul style="list-style-type: none"> 過去のデータが等比級数的な傾向の時にあてはめの結果が良いとされていますが、式の特性上、数値が急激に変化する場合があります。
ロジスティック $y = k / (1 + a \times e^{-bx})$ ($a > 0, b > 1$) k : 飽和定数 e : 自然対数の底		<ul style="list-style-type: none"> 人口増加の法則の研究から導かれたもので、人口の増加速度は、その時の人口の大きさに比例しますが、同時にその時の人口の大きさに関する抵抗を受けるという理論によって定式化された式です。飽和点に向かって収束していくのが特徴です。

(3) 予測結果

①家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ以外）

平成 29 年度から令和元年度の家系系ごみ排出量原単位（大型ごみ以外）実績を用いて各種予測式に当てはめた推計を表 4-3-2 及び図 4-3-2 に示します。

なお、令和 3 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度と同様の傾向を示すことが考えられるため、令和 2 年度の実績値を用いることとします。

表 4-3-2 家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ以外）の予測結果

年度	単位	実績	直線	分数	自然対数	べき乗	指数	ロジスティック
平成28年度	g/人・日	548.5						
平成29年度	g/人・日	568.5						
平成30年度	g/人・日	568.3						
令和元年度	g/人・日	571.5						
令和2年度	g/人・日	583.1						
令和3年度	g/人・日	583.1						
令和4年度	g/人・日		575.4	575.4	575.4	575.5	575.5	—
令和5年度	g/人・日		576.9	576.9	576.9	577.0	577.0	—
令和6年度	g/人・日		578.4	578.4	578.4	578.5	578.5	—
令和7年度	g/人・日		579.9	579.9	579.9	580.0	580.0	—
令和8年度	g/人・日		581.4	581.4	581.4	581.5	581.5	—
令和9年度	g/人・日		582.9	582.9	582.9	583.0	583.1	—
令和10年度	g/人・日		584.4	584.4	584.4	584.6	584.6	—
令和11年度	g/人・日		585.9	585.8	585.9	586.1	586.2	—
令和12年度	g/人・日		587.4	587.3	587.4	587.6	587.7	—
決定係数	—	—	0.7002	0.6999	0.7001	0.6999	0.7001	—
			採用					

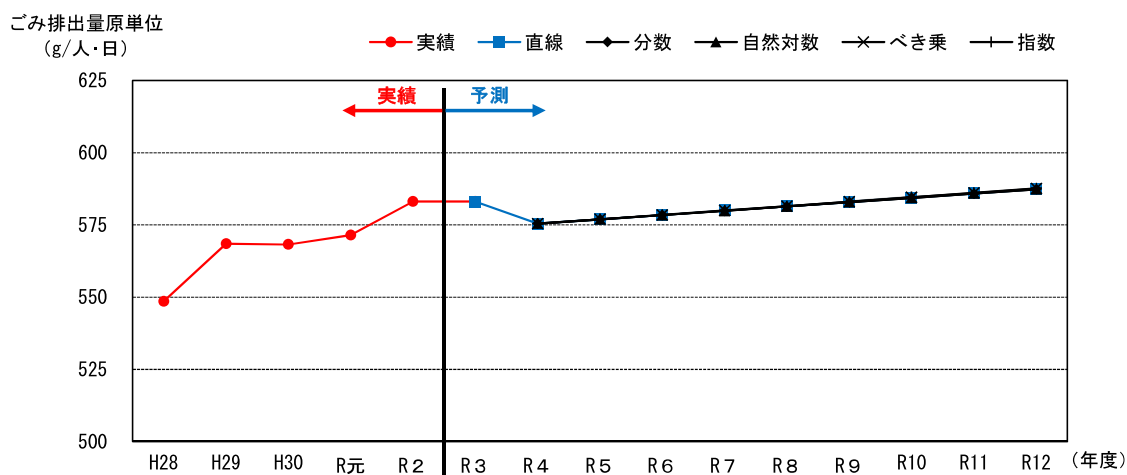


図 4-3-2 家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ以外）の予測結果

②家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ）

家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ）は、増加傾向にあり、平成29年度から令和元年度における各年増加値の最小値（平成29年度から平成30年度0.4g/人・日）を用いて推計します。

平成29年度から令和元年度の家系ごみ排出量原単位（大型ごみ）実績を用いて各種予測式に当てはめた推計を表4-3-3及び図4-3-3に示します。

なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度と同様の傾向を示すことが考えられるため、令和2年度の実績値を用いることとします。

表 4-3-3 家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ）の予測結果

年度	単位	実績	直線	分数	自然対数	べき乗	指数	ロジスティック	推計値
平成28年度	g/人・日	11.6							
平成29年度	g/人・日	12.3							
平成30年度	g/人・日	12.7							
令和元年度	g/人・日	13.9							
令和2年度	g/人・日	15.7							
令和3年度	g/人・日	15.7							
令和4年度	g/人・日		16.2	16.2	16.2	—	—	—	13.9
令和5年度	g/人・日		17.0	17.0	17.0	—	—	—	14.3
令和6年度	g/人・日		17.8	17.8	17.8	—	—	—	14.7
令和7年度	g/人・日		18.6	18.5	18.6	—	—	—	15.1
令和8年度	g/人・日		19.4	19.3	19.4	—	—	—	15.5
令和9年度	g/人・日		20.2	20.1	20.2	—	—	—	15.9
令和10年度	g/人・日		21.0	20.9	20.9	—	—	—	16.3
令和11年度	g/人・日		21.8	21.7	21.7	—	—	—	16.7
令和12年度	g/人・日		22.6	22.5	22.5	—	—	—	17.1
決定係数		—	0.9231	0.9229	0.9230	—	—	—	—

採用

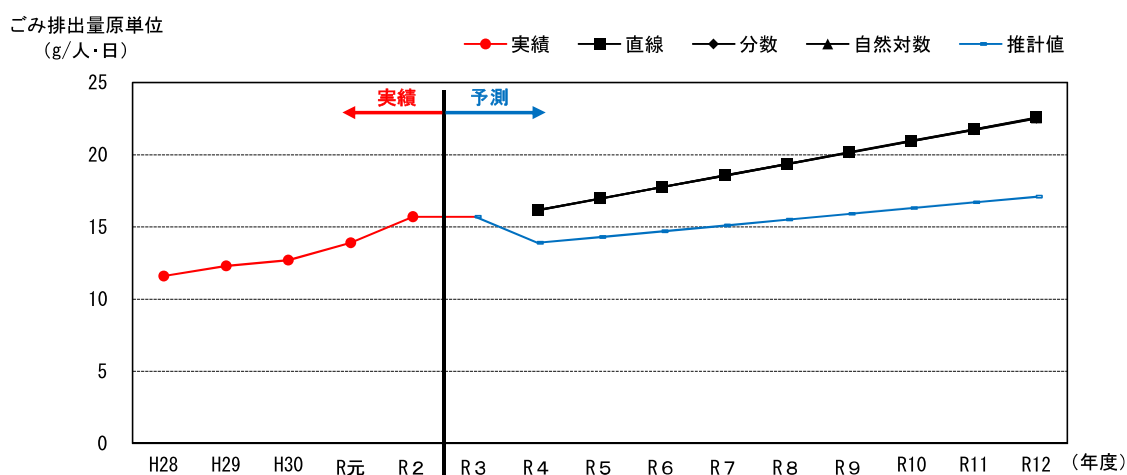


図 4-3-3 家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ）の予測結果

③ 1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集以外）

1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集以外）は、大きな減少傾向にあります。今後も大きく減少するとは考えられないため、平成28年度から令和元年度における各年変化量の平均値（-1.4 t/日）を用いて推計します。

平成29年度から令和元年度の1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集以外）実績を用いて各種予測式に当てはめた推計を表4-3-4及び図4-3-4に示します。

なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度と同様の傾向を示すことが考えられるため、令和2年度の実績値を用いることとします。

表 4-3-4 1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集以外）の予測結果

年度	単位	実績	直線	分数	自然対数	べき乗	指数	ロジスティック	推計値
平成28年度	t/日	68.7							
平成29年度	t/日	68.1							
平成30年度	t/日	63.3							
令和元年度	t/日	64.6							
令和2年度	t/日	60.9							
令和3年度	t/日	60.9							
令和4年度	t/日		58.3	58.3	58.3	—	58.8	—	60.4
令和5年度	t/日		56.6	56.6	56.6	—	57.2	—	59.0
令和6年度	t/日		54.8	54.9	54.8	—	55.7	—	57.6
令和7年度	t/日		53.1	53.1	53.1	—	54.3	—	56.2
令和8年度	t/日		51.3	51.4	51.4	—	52.9	—	54.8
令和9年度	t/日		49.6	49.6	49.6	—	51.5	—	53.4
令和10年度	t/日		47.8	47.9	47.9	—	50.2	—	52.0
令和11年度	t/日		46.1	46.2	46.1	—	48.9	—	50.6
令和12年度	t/日		44.3	44.5	44.4	—	47.6	—	49.2
決定係数	—	—	0.4969	0.4972	0.4970	—	0.4890	—	—

採用

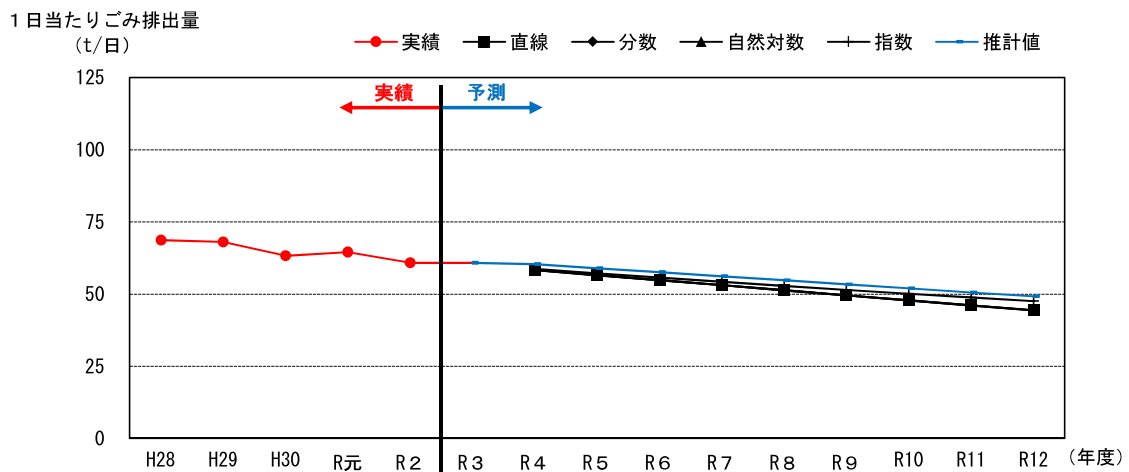


図 4-3-4 1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集以外）の予測結果

④ 1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集）

1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集）は、公益の美化活動や不法投棄の回収等であり、今後大きな変化が起こるとは考えられず、また、少量であるため、令和元年度の実績値（0.3t/日）を用いることとします。

平成29年度から令和元年度の1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集）実績を用いて各種予測式に当てはめた推計を表4-3-5及び図4-3-5に示します。

なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度と同様の傾向を示すことが考えられるため、令和2年度の実績値を用いることとします。

表 4-3-5 1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集）の予測結果

年度	単位	実績	直線	分数	自然対数	べき乗	指数	ロジスティック	R元年度値
平成28年度	t/日	0.2							
平成29年度	t/日	0.4							
平成30年度	t/日	0.2							
令和元年度	t/日	0.3							
令和2年度	t/日	0.2							
令和3年度	t/日	0.2							
令和4年度	t/日		0.1	0.1	0.1	—	—	—	0.3
令和5年度	t/日		0.1	0.1	0.1	—	—	—	0.3
令和6年度	t/日		0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.3
令和7年度	t/日		0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.3
令和8年度	t/日		-0.1	-0.1	-0.1	—	—	—	0.3
令和9年度	t/日		-0.1	-0.1	-0.1	—	—	—	0.3
令和10年度	t/日		-0.2	-0.2	-0.2	—	—	—	0.3
令和11年度	t/日		-0.2	-0.2	-0.2	—	—	—	0.3
令和12年度	t/日		-0.3	-0.3	-0.3	—	—	—	0.3
決定係数		—	0.2500	0.2502	0.2501	—	—	—	—

採用

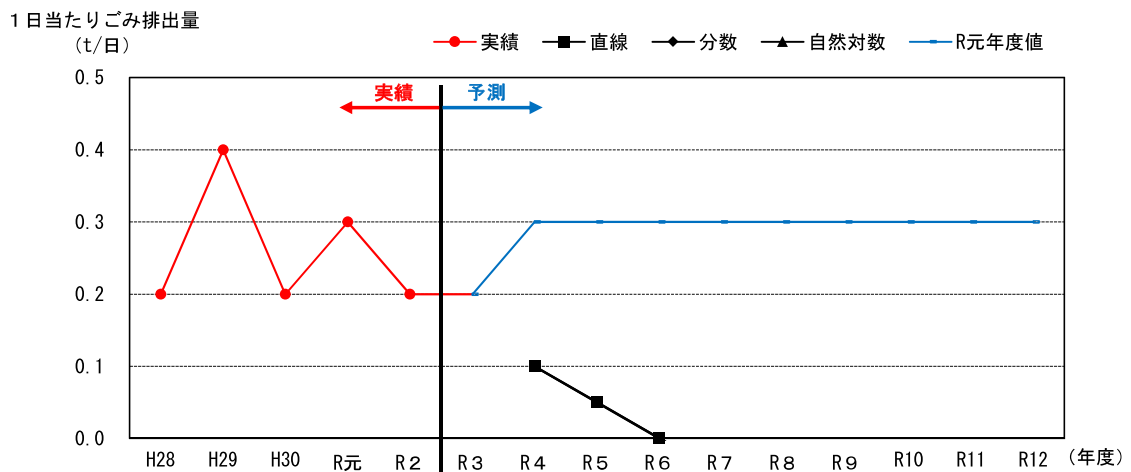


図 4-3-5 1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集）の予測結果

第4節 ごみ排出量の推計

予測の結果、家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ以外）は直線式の予測式を、家庭系ごみ排出量原単位（大型ごみ）は平成29年度から令和元年度における各年増加値の最小値より推計した値を採用しました。また、1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集以外）は平成28年度から令和元年度における各年変化量の平均値より推計した値を、1日当たり事業系ごみ排出量（臨時収集）は令和元年度値を採用します。

家庭系ごみ排出量原単位に年間日数及び将来人口を乗じて、1日当たり事業系ごみ排出量に年間日数を乗じて、各年度の年間排出量を推計します。

1. 将来人口の設定

予測で使用する将来人口については、「第2期大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年4月策定）の将来展望人口から算出します。

将来展望人口は平成27年度を基準に5年ごとの4月1日付け人口が示されているため、使用する年度末の将来人口は翌年度の将来展望人口を採用しています。

使用する将来人口を表4-4-1及び図4-4-1に示します。

表4-4-1 将来人口（各年度末）

項目	単位	実績				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口	人	342,154	342,088	342,695	343,550	343,835

項目	単位	予測				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人口	人	342,894	341,953	341,012	340,071	339,025

項目	単位	予測				
		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
人口	人	337,979	336,934	335,888	334,842	333,429

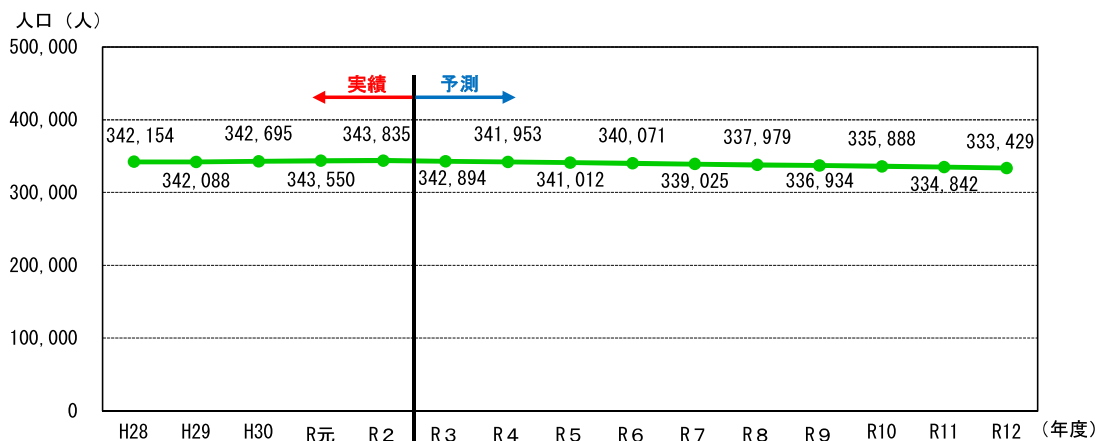


図4-4-1 将来人口

2. ごみ排出量推計

家庭系ごみ排出量原単位及び1日当たり事業系ごみ排出量の予測結果より推計したごみ排出量を表4-4-2及び図4-4-2に示します。

表4-4-2 ごみ排出量の予測結果

項目	単位	実績					予測		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人口	人	342,154	342,088	342,695	343,550	343,835	342,894	341,953	341,012
年間日数	日	365	365	365	366	365	365	365	366
家庭系ごみ排出量原単位(大型ごみ以外)	g/人・日	548.5	568.5	568.3	571.5	583.1	583.1	575.4	576.9
家庭系ごみ排出量原単位(大型ごみ)	g/人・日	11.6	12.3	12.7	13.9	15.7	15.7	13.9	14.3
家庭系ごみ排出量原単位(資源ごみを除く)	g/人・日	490.4	513.6	510.7	513.2	523.6	523.5	518.7	520.4
1日当たり事業系ごみ排出量(臨時収集以外)	t/日	68.7	68.1	63.3	64.6	60.9	60.9	60.4	59.0
1日当たり事業系ごみ排出量(臨時収集)	t/日	0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
家庭系ごみ排出量(大型ごみ以外)	t/年	68,499	70,979	71,080	71,865	73,181	72,979	71,817	72,003
家庭系ごみ排出量(大型ごみ)	t/年	1,455	1,532	1,592	1,749	1,976	1,965	1,735	1,785
家庭系ごみ排出量	t/年	69,954	72,511	72,672	73,614	75,157	74,944	73,552	73,788
事業系ごみ排出量(臨時収集以外)	t/年	25,062	24,849	23,092	23,627	22,241	22,229	22,046	21,594
事業系ごみ排出量(臨時収集)	t/年	75	128	81	95	69	73	110	110
事業系ごみ排出量	t/年	25,137	24,977	23,174	23,721	22,310	22,302	22,156	21,704
ごみ排出量	t/年	95,091	97,488	95,845	97,335	97,467	97,246	95,708	95,492
ごみ排出量(資源ごみを除く)	t/年	86,387	89,102	87,055	88,254	88,023	87,822	86,896	86,655

項目	単位	予測						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
人口	人	340,071	339,025	337,979	336,934	335,888	334,842	333,429
年間日数	日	365	365	365	366	365	365	365
家庭系ごみ排出量原単位(大型ごみ以外)	g/人・日	578.4	579.9	581.4	582.9	584.4	585.9	587.4
家庭系ごみ排出量原単位(大型ごみ)	g/人・日	14.7	15.1	15.5	15.9	16.3	16.7	17.1
家庭系ごみ排出量原単位(資源ごみを除く)	g/人・日	522.1	523.8	525.5	527.2	529.0	530.7	532.4
1日当たり事業系ごみ排出量(臨時収集以外)	t/日	57.6	56.2	54.8	53.4	52.0	50.6	49.2
1日当たり事業系ごみ排出量(臨時収集)	t/日	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
家庭系ごみ排出量(大型ごみ以外)	t/年	71,794	71,759	71,723	71,882	71,647	71,607	71,488
家庭系ごみ排出量(大型ごみ)	t/年	1,825	1,869	1,912	1,961	1,998	2,041	2,081
家庭系ごみ排出量	t/年	73,619	73,628	73,635	73,843	73,645	73,648	73,569
事業系ごみ排出量(臨時収集以外)	t/年	21,024	20,513	20,002	19,544	18,980	18,469	17,958
事業系ごみ排出量(臨時収集)	t/年	110	110	110	110	110	110	110
事業系ごみ排出量	t/年	21,134	20,623	20,112	19,654	19,090	18,579	18,068
ごみ排出量	t/年	94,753	94,251	93,747	93,497	92,735	92,227	91,637
ごみ排出量(資源ごみを除く)	t/年	85,940	85,440	84,939	84,667	83,945	83,440	82,862

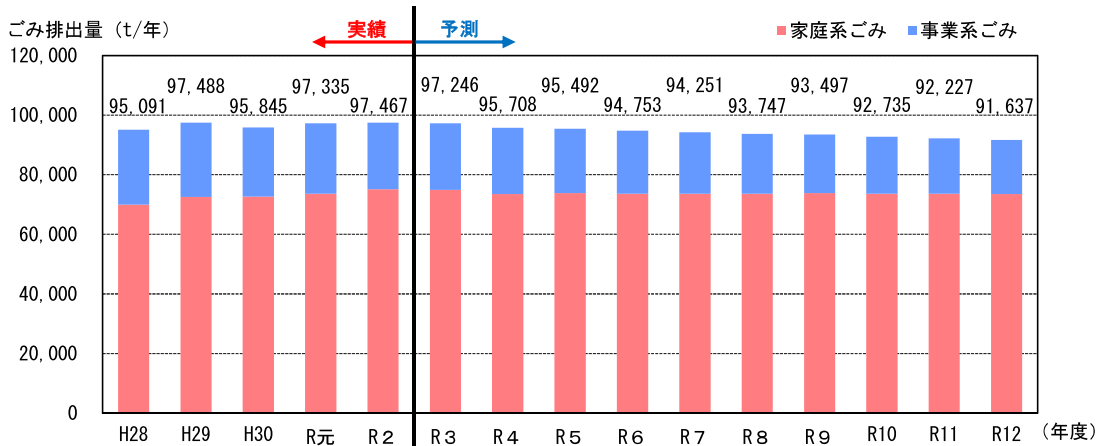


図4-4-2 ごみ排出量の予測結果

第5節 ごみ発生量の推計

ごみ排出量に集団資源回収量を加え、ごみ発生量を推計します。

1. 集団資源回収量の推計

(1) 集団資源回収量原単位の予測

① 集団資源回収量原単位（新聞以外）

集団資源回収量原単位（新聞以外）は、減少傾向にあり、平成29年度から令和元年度における各年減少値の最小値（平成30年度から令和元年度 $-0.7\text{g}/\text{人}\cdot\text{日}$ ）を用いて推計します。

平成29年度から令和元年度の集団資源回収量原単位（新聞以外）実績を用いて各種予測式に当てはめた推計を表4-5-1及び図4-5-1に示します。

なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度と同様の傾向を示すことが考えられるため、令和2年度の実績値を用いることとします。

表 4-5-1 集団資源回収量原単位（新聞以外）の予測結果

年度	単位	実績	直線	分数	自然対数	べき乗	指数	ロジスティック	推計値
平成28年度	g/人・日	30.9							
平成29年度	g/人・日	29.1							
平成30年度	g/人・日	27.4							
令和元年度	g/人・日	26.7							
令和2年度	g/人・日	25.7							
令和3年度	g/人・日	25.7							
令和4年度	g/人・日		22.9	22.9	22.9	—	23.3	—	26.7
令和5年度	g/人・日		21.7	21.7	21.7	—	22.3	—	26.0
令和6年度	g/人・日		20.5	20.6	20.5	—	21.4	—	25.3
令和7年度	g/人・日		19.3	19.4	19.3	—	20.5	—	24.6
令和8年度	g/人・日		18.1	18.2	18.2	—	19.6	—	23.9
令和9年度	g/人・日		16.9	17.0	17.0	—	18.8	—	23.2
令和10年度	g/人・日		15.7	15.8	15.8	—	18.0	—	22.5
令和11年度	g/人・日		14.5	14.6	14.6	—	17.3	—	21.8
令和12年度	g/人・日		13.3	13.4	13.4	—	16.5	—	21.1
決定係数		—	0.9453	0.9454	0.9454	—	0.9497	—	—

採用

集団資源回収量原単位
(g/人・日)

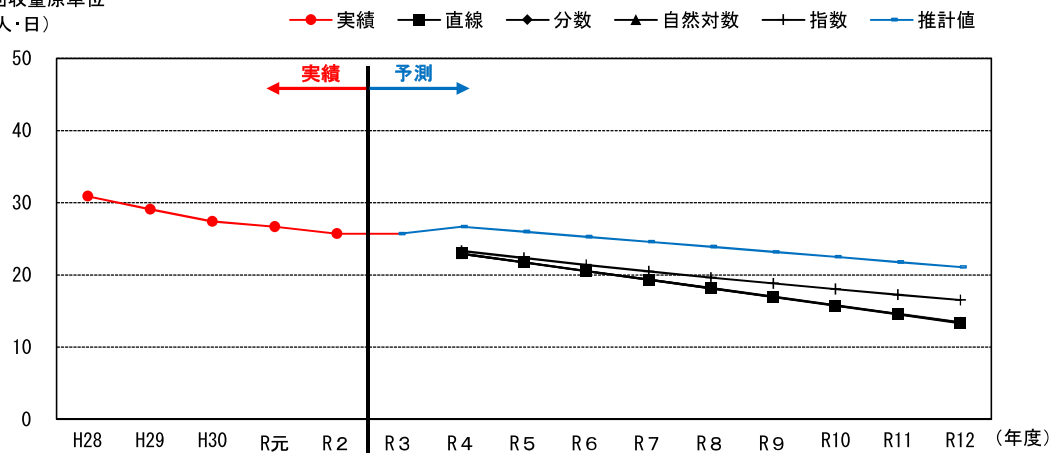


図 4-5-1 集団資源回収量原単位（新聞以外）の予測結果

② 集団資源回収量原単位（新聞）

集団資源回収量原単位（新聞）は、大きな減少傾向にあり、近年の新聞発行部数の実績を考慮して推計します。新聞発行部数より毎年3.2%（平成23年度から令和2年度の新聞（一般紙）の発行部数の減少率）減少した場合の値を用いることとします。

平成29年度から令和元年度の集団資源回収量原単位（新聞）実績を用いて各種予測式に当てはめた推計を表4-5-2及び図4-5-2に示します。

なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度と同様の傾向を示すことが考えられるため、令和2年度の実績値を用いることとします。

表 4-5-2 集団資源回収量原単位（新聞）の予測結果

年度	単位	実績	直線	分数	自然対数	べき乗	指数	ロジスティック	推計値
平成28年度	g/人・日	38.8							
平成29年度	g/人・日	35.4							
平成30年度	g/人・日	32.1							
令和元年度	g/人・日	29.3							
令和2年度	g/人・日	24.4							
令和3年度	g/人・日	24.4							
令和4年度	g/人・日		20.1	20.1	20.1	—	—	—	29.3
令和5年度	g/人・日		17.0	17.1	17.0	—	—	—	28.4
令和6年度	g/人・日		14.0	14.0	14.0	—	—	—	27.5
令和7年度	g/人・日		10.9	11.0	11.0	—	—	—	26.6
令和8年度	g/人・日		7.9	8.0	7.9	—	—	—	25.7
令和9年度	g/人・日		4.8	4.9	4.9	—	—	—	24.9
令和10年度	g/人・日		1.8	1.9	1.8	—	—	—	24.1
令和11年度	g/人・日		-1.3	-1.1	-1.2	—	—	—	23.3
令和12年度	g/人・日		-4.3	-4.1	-4.2	—	—	—	22.6
決定係数		—	0.9978	0.9978	0.9978	—	—	—	—

採用

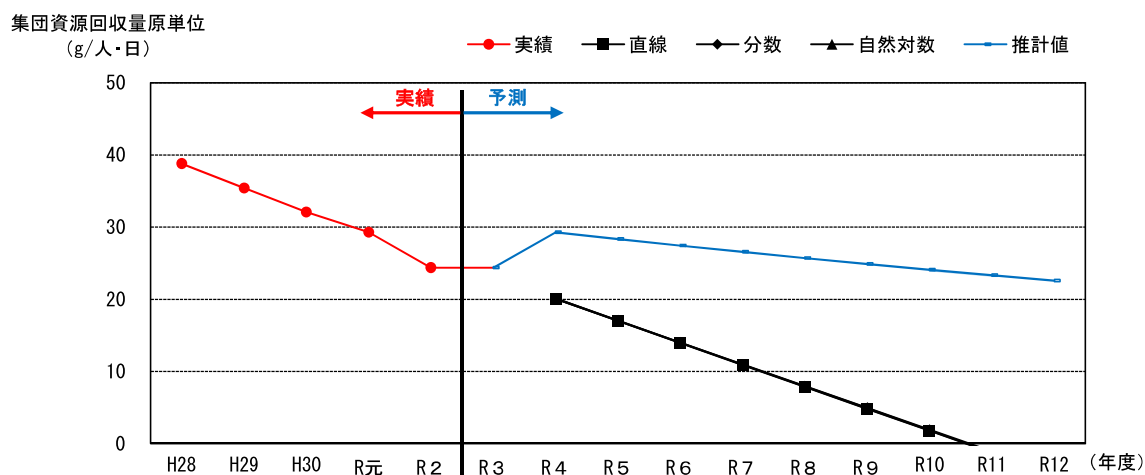


図 4-5-2 集団資源回収量原単位（新聞）の予測結果

(参考) 新聞（一般紙）の発行部数

項目	単位	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
購読数	千部	440,913	437,232	431,264	416,871	406,919	398,211	387,636	368,230	348,780	324,548

出典：一般社団法人 日本新聞協会

(2) 集団資源回収量推計

予測の結果、集団資源回収量（新聞以外）原単位は平成29年度から令和元年度における各年減少値の最小値より推計した値を、集団資源回収量（新聞）原単位は平成23年度から令和2年度の新聞発行部数より推計した値を採用します。

集団資源回収量原単位の予測結果より推計した集団資源回収量を表4-5-3及び図4-5-3に示します。

表 4-5-3 集団資源回収量の予測結果

項目	単位	実績					予測			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
人口	人	342,154	342,088	342,695	343,550	343,835	342,894	341,953	341,012	
年間日数	日	365	365	365	366	365	365	365	366	
集団資源回収量（新聞以外）原単位	g/人・日	30.9	29.1	27.4	26.7	25.7	25.7	26.7	26.0	
集団資源回収量（新聞）原単位	g/人・日	38.8	35.4	32.1	29.3	24.4	24.4	29.3	28.4	
集団資源回収量（新聞以外）	t/年	3,864	3,633	3,430	3,358	3,228	3,217	3,333	3,245	
集団資源回収量（新聞）	t/年	4,842	4,414	4,018	3,686	3,067	3,054	3,657	3,540	
集団資源回収量	t/年	8,706	8,047	7,448	7,044	6,295	6,271	6,990	6,785	

項目	単位	予測						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
人口	人	340,071	339,025	337,979	336,934	335,888	334,842	333,429
年間日数	日	365	365	365	366	365	365	365
集団資源回収量（新聞以外）原単位	g/人・日	25.3	24.6	23.9	23.2	22.5	21.8	21.1
集団資源回収量（新聞）原単位	g/人・日	27.5	26.6	25.7	24.9	24.1	23.3	22.6
集団資源回収量（新聞以外）	t/年	3,140	3,044	2,948	2,861	2,758	2,664	2,568
集団資源回収量（新聞）	t/年	3,408	3,289	3,174	3,071	2,955	2,852	2,749
集団資源回収量	t/年	6,548	6,333	6,122	5,932	5,713	5,516	5,317

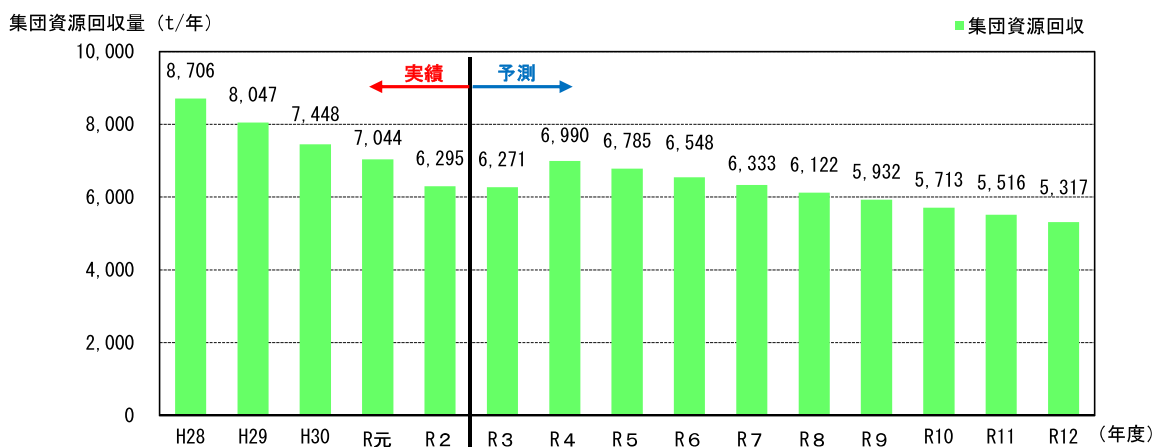


図 4-5-3 集団資源回収量の予測結果

2. ごみ発生量推計

ごみ排出量及び集団資源回収量の予測結果より推計したごみ発生量を表 4-5-4 及び図 4-5-4 に示します。

表 4-5-4 ごみ発生量の予測結果

項目	単位	実績					予測		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
家庭系ごみ排出量	t/年	69,954	72,511	72,672	73,614	75,157	74,944	73,552	73,788
事業系ごみ排出量	t/年	25,137	24,977	23,174	23,721	22,310	22,302	22,156	21,704
集団資源回収量	t/年	8,706	8,047	7,448	7,044	6,295	6,271	6,990	6,785
ごみ発生量	t/年	103,797	105,535	103,293	104,379	103,762	103,517	102,698	102,277

項目	単位	予測						
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
家庭系ごみ排出量	t/年	73,619	73,628	73,635	73,843	73,645	73,648	73,569
事業系ごみ排出量	t/年	21,134	20,623	20,112	19,654	19,090	18,579	18,068
集団資源回収量	t/年	6,548	6,333	6,122	5,932	5,713	5,516	5,317
ごみ発生量	t/年	101,301	100,584	99,869	99,429	98,448	97,743	96,954

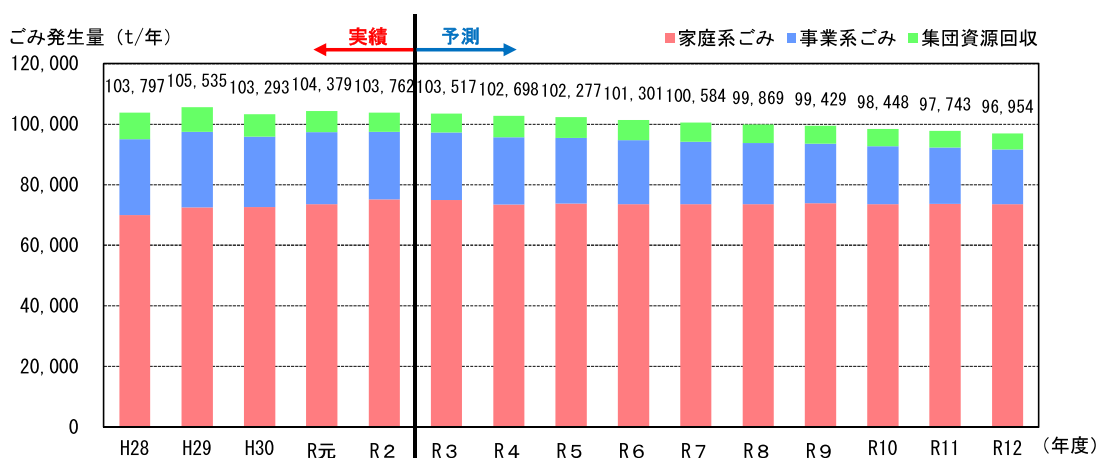


図 4-5-4 ごみ発生量の予測結果